

8

Microsoft 365 の バックアップサービスがもたらす つのメリット

8 つのメリット

	1. シンプルなデータ保護	4
	2. 迅速で簡単なセットアップ	5
	3. 時間とコストの節約	6
	4. 全てが揃った「オールインワン」のサービス	7
	5. 無制限のストレージ	8
	6. メンテナンス & セキュリティ	9
	7. コンプライアンス & ガバナンス	10
	8. Microsoft 365 に特化した設計	11

はじめに

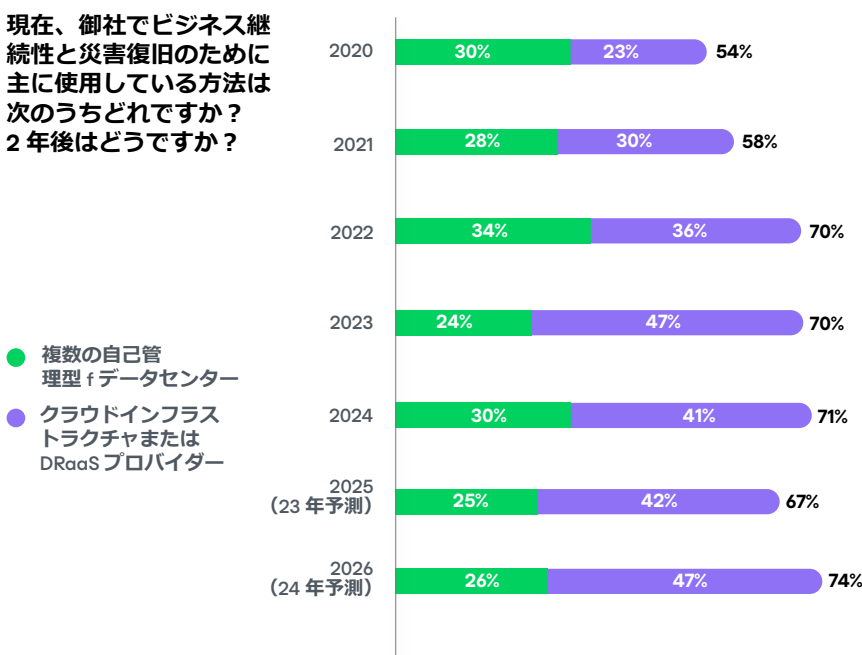
Microsoft 365 バックアップ市場は今後数年間で倍増する見込みです。ある調査では、Microsoft Office ドキュメントがサイバー犯罪者による脆弱性悪用目的の攻撃数において1位（80%）であったことを考えると、これは朗報と言えます¹。ますます多くのデータ所有者が Microsoft 365 専用のバックアップソリューションの重要性に対する認識を高める中、より効率的で投資対効果の高いデータ保護への需要も高まり続けています。

特に日常業務に Microsoft 365 を利用する組織の場合、データの詳細な保護手段に関する決定は最も重要な決定事項の一つとなります。Microsoft の責任共有モデルについてご存じの方もいらっしゃると思いますが、Microsoft 365 は堅牢なアプリケーションやサービスを多数提供している一方で、それらのサービスにはバックアップソリューションがネイティブで組み込まれていません。そのため、Microsoft 365 データを安全に保護し、ビジネスの継続性を維持するための時間や資金、人材を確保するのが難しい場合があります。

今や、多くの組織がソフトウェアのみのバックアップソリューションを利用しています。ソフトウェアの購入後は、ソフトウェアを実行するインフラストラクチャの設定から選択したストレージの接続に至るまで、エンドユーザーがすべてを完全に自己管理します。これにより、組織は完全な制御を維持できるようになり、バックアップのあらゆる要素を調整して自由に最適化することができます。しかし、継続的な管理（および実体験に基づく専門知識）が不可欠になるため、一部の企業にとってはソフトウェアのみのソリューションの魅力が低下しています。つまり、車を運用するために整備工場を所有する必要がないのと同様に、データを保護するためにバックアップインフラストラクチャ全体を構築する必要はないということです。

この認識により、as a Service モデルに対する関心の高まりに大きな変化がもたらされました。事実、Veeam 提供の「[2024 データプロテクションレポート](#)」では、88%の企業が、少なくとも一部の本番サーバーで Backup as a Service (BaaS) または Disaster Recovery as a Service (DRaaS) を導入する可能性が非常に高い、またはほぼ確実であると回答しました。また、同じ調査において、次の図に示すように「現在、そして2年後、御社でビジネス継続性と災害復旧のために主に使用している方法は次のうちどれですか？」という質問をしました。結果は自ずと明らかになりました。

現在、御社でビジネス継続性と災害復旧のために主に使用している方法は次のうちどれですか？
2年後はどうですか？



バックアップベンダーと提携することで、組織は自己管理型またはソフトウェアのみのバックアップに代わる、利便性の高い強力な投資対効果の高い方法を活用できます。企業は、これによってビジネス目標に集中できると同時に、将来に向けたデータの安全性についても道筋を立てることができます。このことを念頭に、Microsoft 365 を利用する企業にとってクラウドベースのバックアップサービスが魅力的な理由と、ビジネスの継続性を維持するうえで役立つ理由について説明します。

¹IT Threat Evolution in Q3 2023

1. シンプルなデータ保護

優秀な IT チームが、従来のバックアップ環境内に存在する大規模で複雑な一連のタスクを担当することがよくあります。そうしたタスクには、効果的な管理、定期的なメンテナンス、堅牢なセキュリティ対策（適切なタイミングでの修正やパッチを含む）など、優れたバックアップ戦略のカギとなる要素が含まれています。

こうした責任は不可欠であるだけでなく、永続的なものでもあります。「設定して放置しておく」というわけにはいきません。環境の最適化、チェック、パッチ適用、アップデートを継続的に行う必要があります。このことが、データ消失インシデントが発生した際に、Microsoft 365 データを完全に復元できた組織は 25% に満たないという事実につながっている可能性が高くあります。ここで疑問が生じます。他の誰かに依頼できるこうしたメンテナンスに、なぜ多大な費用や時間、人材をつぎ込む必要があるのでしょうか？これこそがバックアップサービスの優れた点です。

次の図は、効果的なバックアップ戦略に必要な、主要なジョブやコンポーネントを簡単にまとめたものです。自社のバックアップ戦略に基づいて、社内で管理するものと委任するものを決定できます。



バックアップサービスの作成における理念として「シンプルさ」が挙げられます。バックアップサービスでは、遠隔地にいるエキスパートによって複雑さが管理されます。メンテナンス、スケーラビリティ、セキュリティ、専門知識についてお客様側が心配する必要はもはやありません。IT チームがバックアップソリューションへの実装に必要なすべての機能には、Web ブラウザから、または環境に合わせて設計された直感的なユーザーインターフェイスからアクセスできます。IT チームはバックアップのカスタマイズや保持ポリシー、監視と分析にアクセスできます。これらは全て、最小限のトレーニングで維持およびカスタマイズできるように設計されています。

このとおり、「シンプルさ」を念頭に設計されています。



2. 迅速で簡単なセットアップ

バックアップソフトウェアの導入あたっての最大の課題はソフトウェアを軌道に乗せることにあります。インフラストラクチャの設定と保守から、ストレージの選択と接続、エキスパートとの調整、そして最初のバックアップ実行時にすべてが正しく設定されていることを祈るまで、重要な作業が多すぎて毎回適切に行うことは困難です。企業には、大容量のストレージシステム、バックアップサーバー、ネットワーク機器が必要ですが、これらを習得するための学習期間も確保する必要があり、企業の成長に合わせて再構成したり拡張したりする必要もあります。さらには、当然ながらこれらを機能させるためのバックアップおよびセキュリティソフトウェアを正しく設定して、ライセンスを取得することも必要です。

設定はバックアップサービスベンダーによって迅速に行われます。お客様は、ログインしてバックアップサービスを Microsoft 365 環境に結び付けるだけで準備が整います。このように、数分内に最初のバックアップジョブを作成できるようになります。ソリューションを正常に機能させるために多くのコンポーネントを接続する必要がないため、設定エラーの可能性が減り、バックアップのデプロイメントを迅速かつシームレスに行うことができます。

設定したら、そのまま次に進みましょう。とても簡単ですね。





3. 時間とコストの節約

全般的に、今日のIT部門にとって予算上の制限、リソースの縮小、厳しい納期はいずれも頭の痛い課題です。「より少ないリソースでより多くのことを成し遂げる」ことはほとんどの組織における期待事項となっており、これを強いられる場合もあります。残念なことに、ITチームは他のどのチームよりもこのスローガンに従うことを期待されており、その副次的な影響の矢面に立たされることが多々あります。

ここで、「ITチームへのプレッシャーを、時間、コスト、リソースを犠牲にすることなく軽減するにはどうすればよいか」という点を考えてみましょう。シンプルなクラウドベースのバックアップサービスを利用すれば、企業は複雑なバックアップインフラストラクチャの管理のために専門のエキスパートを確保しなければならぬという制約から解放されます。SaaSソリューションはシンプルであるため、ITチームのメンバーであれば誰でも、必要に応じたバックアップの作成やデータのリストアに必要なスキルを容易に習得できます。

そのため、多数のオンプレミスサーバーやストレージシステムを維持する従来の方法と、それに伴うコストを最小限に抑えることができます。ハードウェアとその維持管理に関する、より重大な技術的責任についてはバックアップベンダーが担うため、ITチームは他の重要なビジネス業務に集中できるようになります。

さらにもう一步踏み込んでみましょう。バックアップサービスでは、使用した分の料金だけがかかります。バックアップサービスを利用している企業は、未使用のリソースや投資不足のリソースに無駄に費用をかけることはありません。このように、社内に置かれたシステムにかかる予測不能で変動する費用が、信頼性の高い予測可能なサブスクリプションベースのモデルへと変わります。

問題は、どれだけの時間とコストを節約できるかではなく、「全体的にどうすべきか」なのです。

バックアップサービスを利用する場合：



少ないリソースで
より多くのことを実行



バックアップベン
ダーが面倒な作業を担当

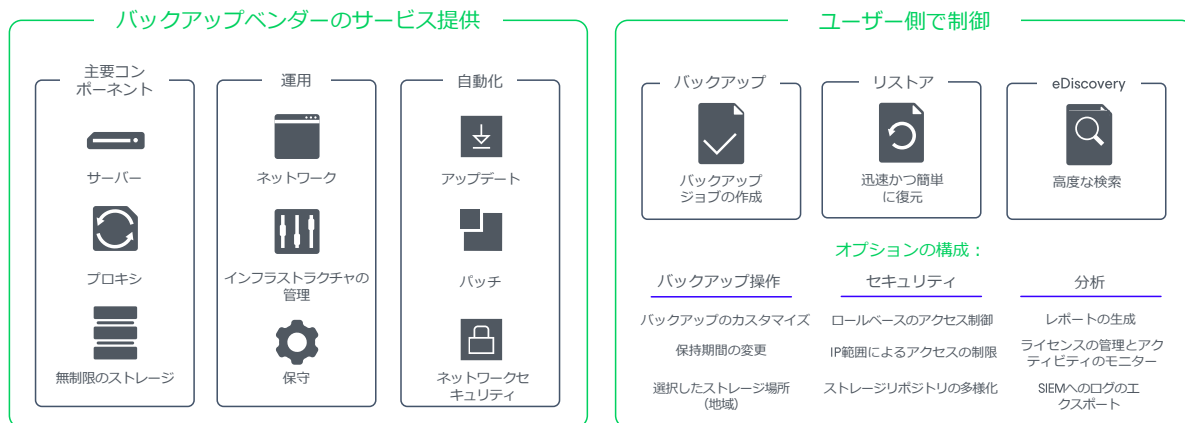


使用した分だけの支払い

4. 全てが揃った「オールインワン」のサービス

バックアップを自己管理する場合、全てのバックアップシステムの効果的な稼働を維持するために、サーバー、ストレージ、ソフトウェアを手作業でまとめる必要があります。これにはさまざまな管理タスクの継続的な実施も含まれます。このようにすることでより多くのコンポーネントをカスタマイズできる一方で、設定ミスやその他の見落としのリスクも伴います。バックアップサービスベンダーは、Microsoft 365 のデータ保護戦略の導入と実行に必要な全てのコンポーネントを提供することができます。つまり、全ての運用コンポーネントは保護されてデプロイされ、組織で利用可能な状態で提供されるため、面倒な作業や手動での設定を自社で行う必要はありません。

端的に言えば、Microsoft 365 バックアップベンダーはスケーラビリティとフォーカスのデメリットなしに、両方のメリットをもたらします。バックアップベンダーは、この包括的なサービスを通じて、自己管理型バックアップでは達成できないレベルのシンプルさと利便性を提供します。次の図では、バックアップベンダーが提供するサービスの内容とユーザーが管理する要素を包括的に対比しています。



これらのサービスには予測可能なコスト構造が伴うことが多いため、計画性のない資本支出を安定したスケーラブルな運用支出へと変えることができます。最終的に、組織は Microsoft 365 専用のバックアップサービスを活用することで、データの回復力をより効果的に高め、ハードウェアの制約なしに必要なに応じて拡張することができます。さらに、データは最新のセキュリティ機能とコンプライアンス機能で保護されるため、大きな安心感を得ることができます。「複雑なパズル」とされていたエンタープライズレベルのバックアップが、単純明快で統一された戦略に変わるのです。

ギャップと見落としのリストはもはや過去のものです。

5. 無制限のストレージ

データ生成は指数関数的に増加しており、今後も増加の一途を辿ると予想されます。増大するデータ関連のニーズに対応でき、理想的には法外なコストや管理上の負担が多くかからないバックアップソリューションが多く求められています。

クラウドベースのバックアップサービスであれば、ストレージに関する悩みは解消されます。組織は、バックアップインフラストラクチャの物理的な制限や、追加のストレージハードウェアへの投資について心配することなく、拡張を進めることができます。バックアップベンダーの多くは、データ量の増加や変動が予測しづらい企業に必要とされる柔軟性を提供する、無制限または拡張性の高いストレージオプションを提供しています。クラウドストレージでは、従来のソリューションとは異なり、ビジネスの需要に応じたスケールアップ/スケールダウンが可能で

す。無制限のストレージにより、組織は定額料金で必要なだけのスペースを使用できます。

ほとんどの場合、Microsoft 365のバックアップベンダーは無制限の保持ポリシーを提供しており、データの保存期間について事前定義された制限はありません。企業は、データのライフサイクルを細かく管理するという面倒なタスクや、時期尚早の削除といったリスクから解放されます。コンプライアンス、法務関連、分析などの目的でデータを長期間保持する必要がある、またはそれを希望する場合も、独自のニーズに沿って安心して保持できます。

そうすることで、ストレージコストを抑えながらも自社の成長に貢献できます。



6. メンテナンス & セキュリティ

これまで、バックアップベンダーがもたらす有望なメリットについていくつか説明してきました。しかし、組織の53%が過去12ヶ月以内にSaaSアプリケーションでデータ消失や破損を経験している状況で³、こうしたメリットの価値は、メンテナンスとセキュリティの質が自己管理型ソリューションと同等かそれ以上になって初めて生まれます。

バックアップサービスベンダーは、データの安全性と可能な限り高レベルのビジネス継続性を確保すべく、大きな進歩を遂げています。バックアップは転送中も転送後も暗号化されるため、データが傍受されたり侵害されたりした場合でもデータは読み取り不能のまま維持され、サイバー脅威からの安全が確保されます。また、通常、バックアップデータはサービスレベルのイミュータビリティで保護さ

れ、データは物理的に隔離された仮想的な場所に保存されて、バックアップベンダーによってホストされ、Microsoft 365 および顧客のインフラストラクチャから分離されます。

バックアップサービスを使用することで、データの拡張性だけでなくその可用性も向上します。多くの場合、バックアップベンダーはストレージソリューションを活用することで、地理的に分散された複数のデータセンターにまたがり、複数のバックアップコピーを別々のディスクに保持して、データのライフサイクルに耐久性と冗長性を取り入れています。

それがどれくらい優れているかというと、非常に優れています！



7. コンプライアンス & ガバナンス

データ侵害やコンプライアンス違反は重大な罰金や風評被害につながる可能性があります。厳格なコンプライアンス基準と認証への遵守は任意ではなく、多くの場合は法律で強制される必須事項です。各種バックアップサービスは、さまざまな業界や地域の規制の枠組みによって定められた高い基準を満たすように専門的な設計がなされており、お客様がその基準を下回ることがないようにされています。

バックアップベンダーは、CCPA、GDPR、HIPAA、SOXなどの必須の規制/基準に加え、その他の連邦、地域、業界で定められた規制/基準への準拠を定期的に検証するために、自社サービスに対して厳格な監査を受けています。こういった監査は、透明性と信頼性を維持し、最高のセキュリティとコンプライアンス基準を維持するというベンダーのコミットメントを示すうえで非常に重要です。それに伴い、企業はこうしたバックアップソリューションが設計上コンプライアンスに準拠していることを信頼できるため、コンプライアンスの確保のために社内リソースを割く必要性が省かれます。

コンプライアンスはそもそも驚くことではありませんが、今後は一切心配する必要がなくなります。





8. Microsoft 365 に特化した設計

最高の Microsoft 365 バックアップサービスとは、Microsoft 365 データに対応できるように改造された一般的なソリューションではなく、Microsoft 365 データ固有の特性や要件を活用すべく一から設計、構築された優れたサービスを指します。こうしたサービスでは、初日からでもバックアップ操作中のネットワークリソースへの負荷を最小限に抑えられるようにバックアップが最適化されているため、必要なデータセットのバックアップに優先順位を設定し、最も重要なデータを可能な限り迅速に復元できます。

これらのバックアップサービスは Microsoft 365 の全てのアプリケーションを対象としているため、特定のアイテムの保護とリストアを簡単に処理できる統合バックアップソリューションとなっています。対象には Exchange Online のメールボックスやカレンダー、SharePoint Online サイト、OneDrive for Business のファイルとフォルダ、Microsoft Teams の投稿、タブ、チャンネルなども含まれており、これらの重要なデータが保護されずに放置されることはありません。

Microsoft 365 専用のバックアップとは、バックアップ速度の向上、データの正確な復元、バックアップの消費容量の全体的な削減をもたらすものです。組織は、カスタマイズされた包括的なバックアップソリューションによってのみ、データ保護に関して妥協することなく Microsoft 365 の可能性を最大限に引き出すことができます。

こうしたソリューションでこそ、あらゆるアプリ、あらゆるファイルに特化した保護を得ることができます。

Microsoft 365 API の 統合と最適化の効果：



バックアップと復元の
速度の向上



必要なデータセットの
バックアップの優先順位設定



専用のデータ保護

³ 「SaaS Data Protection: A work in Progress」、ESG、2022 年 11 月

Veeam Data Cloud for Microsoft 365

Microsoft 365 データはバックアップが難しく、その管理はさらに困難です。そのためには、洗練されたバックアップインフラストラクチャへの戦略的な投資、ディザスタリカバリ計画の作成、Microsoft 365 プラットフォームに関する深い理解が求められます。これまでの調査結果から導かれるのは、こうした課題に自社で対処し続けるのか、もしくはデータ管理における実績のあるリーダー企業に自社データを任せるのか、という判断を下さなければならぬということです。

Veeam Data Cloud for Microsoft 365 は、Microsoft 365 データの根源的な回復力に最新の機能を取り入れた製品です。業界をリードする Microsoft 365 バックアップソリューションである Veeam Backup for Microsoft 365 が、サービスとして (as a Service) 提供されるようになりました。

ソフトウェア、バックアップインフラストラクチャ、無制限のストレージがすべて含まれた「オールインワン」のクラウドサービスでバックアップ戦略を簡素化しましょう。パワフルなデータ保護とセキュリティテクノロジーを簡単かつシームレスに活用できます。

Veeam Data Cloud for Microsoft 365 は Microsoft Exchange、SharePoint、OneDrive for Business、Teams に対して包括的なデータ保護と復元を提供するバックアップサービスであり、お使いの Microsoft 365 環境の完全な制御を可能にします。

詳細については veeam.com をご覧ください。

 [Veeam Data Cloud for Microsoft 365 のインタラクティブなウォークスルーを見る](#)

Veeam Data Cloud for Microsoft 365 を使用すると、以下のようなメリットを得られます。

- 信頼性が高く、業界をリードするテクノロジー — スケールに合わせて構築された 10 年以上にわたる継続的なイノベーションを備えた最も包括的なデータ保護ソリューションです。
- 最新、安全、直感的な操作 — 最新の Web UI から簡単にバックアップジョブを作成したり、復元を完了したり、Microsoft 365 分析情報を取得したりすることができます。
- 全てが含まれた「オールインワン」ソリューション — ソフトウェア、バックアップインフラストラクチャ、無制限のストレージが含まれており、継続的なメンテナンスはエキスパートが担当します。

Veeam Software について

データ保護およびランサムウェアからの復旧における No.1 のグローバル市場リーダーである Veeam® は、あらゆる組織がデータの停止や消失から復旧して元の状態に戻るだけでなく、さらに前進できるようサポートすることを使命としています。Veeam を利用することで、組織はハイブリッドクラウドのデータセキュリティ、データの復元、データの自由を通じて、根源的な回復力を実現できます。Veeam Data Platform は単一のプラットフォームで、クラウド、仮想、物理、SaaS、Kubernetes といった環境に対応しています。IT リーダーやセキュリティリーダーは、アプリケーションやデータが保護され常に利用できる状態であるという安心感が得られます。米国ワシントン州シアトルに本社を置き、30 ヶ国以上に事業拠点を構える Veeam は、世界中で 45 万社を超えるお客様を保護しています。お客様の中には Global 2000 の 73% の企業も含まれており、事業継続性の維持に Veeam をご利用いただいています。根本的な回復力は Veeam から。